

年 組 名前：

風林火山

第1回統一地方選の県・市町村議選が行われたのが、75年前のきのう。投票率の推移を県議選で見ると、この時の88・50%をはじめ昭和の時代は8〜9割台で、平成に入って7割台に落ち、近年は5割台が続く直近2019年は50・26%だった▼シヨックだったのが、1週間前に投開票された甲斐市議選。39・77%と4割を下回った。目立った争点がなかったためと言われるが、一番身近な選挙で有権者の6割が投票に行かない現実をどう捉えたらいいのか▼竜王、敷島、双葉3町が合併して04年に誕生した、県内で人口が2番目に多い甲斐市。市議選投票率は最初の06年が63・15%、10年が59・77%、14年が51・79%、18年が45・35%、そして今回と着実に下がっている▼無投票が続ぎ、20年に初めて選挙戦となった市長選の投票率は47・01%とこちらも低迷した。首長と議会という二元代表の両翼とも5割に満たない投票で決められる状況は、果たして健全だろうか▼市は昨年、選挙に関する市民アンケートをLINE（ライン）を使って実施。市内の投票率が低い理由の質問では、「政治に興味がない人が多い」の回答が圧倒的だった▼肝心なのは、なぜ興味がないかだろう。投票率の低さは甲斐市ばかりの問題ではないが、住民一人一人に市政を自分事として考え、参加してもらうにはどうしたらいいか。新議会が取り組むべき大きなテーマになるだろう。

(吾)

(2022年5月1日付 山梨日日新聞1面)

問1

2019年の県議選投票率はA%で、第1回統一地方選の県議選に比べてB%落ち込みました。

A、Bに入る数字は何ですか。

A 「 %」 B 「 %」

問2

コラム筆者が「果たして健全だろうか」と疑問を投げかけるのは、どんな状況ですか。

.....

問3

選挙の投票率が低いことによる弊害は何か、どうすれば投票率を上げることができると思うかを書いてください。

「投票率が低い弊害」→

.....

「投票率を上げる策」→

.....